

3-12 修理・製本

利用されている図書が破損した場合、さらなる消耗を食い止め、再び利用するため修理・製本する。
また、製本については、これら以外に作成資料の製本等もある。

3-12-1 修理

ページが1ページだけ抜け落ちた時は、ページの端1mmの幅にのりを塗り、そのまま差し込むとよい。
本ののど部分の破損やページの破れはページヘルパーで補修する。接着溶剤が資料に悪いので、絶対にセロハンテープでは修理しない。

3-12-2 製本

作成資料の場合、簡単なものは、表紙を付け、ホッチキスで止め、その上をクロステープで補強する。
簡易製本機がある場合は、表紙を付け、製本機で背を糊付けし、その上をクロステープで補強する。
製本用セットが各種市販されているので、そういったものを利用するとよい。

3-12-3 ブックコート

ブックコートを貼ることにより、図書の破損や汚れを防ぐことができる。また、紫外線をカットし、色褪せや日焼けを防ぐことができるものもある。受入したすべての図書に貼るには大変な時間と手間がかかるので、利用頻度が高いものから優先的に作業をすすめるとよい。ブックコートを貼らない場合、カバーと本体とを糊や製本用テープで固定するとカバーの傷みが少ない。

【参考動画】<https://www.youtube.com/watch?v=SACy1iFLQ0s>

【図書館用品の埼玉福祉会】ブックコートフィルムの正しい貼り方

3-12-4 ブックコートの貼り方

●カバーの有る本の貼り方

